

ります。222ページになりますが、7目置賜生涯学習プラザ費は22.1%増で、003の運動公園基本概略設計業務委託料が増などとなっております。

次に、224ページをお開き願います。5項保健体育費は、支出済額1億4,652万3,934円、前年度対比20.8%増であります。1目の保健体育総務費は、前年度対比103.3%増で、227ページになりますが、006社会教育・文化・体育施設調査・データ化事業が増などとなっております。230ページになりますが、3目学校給食費は20.6%増で、233ページになりますが、003の蒸気釜更新工事費が増などとなっております。

次に、11款災害復旧費は支出がございません。

次に、12款公債費は、支出済額17億3,535万7,966円、予算執行率は99.9%、歳出総額に占める構成比率は15.4%であります。前年度対比では8,757万1,754円減、4.8%減となっております。

次に、13款予備費は、議決予算額のうち8万6,939円を車両事故に係る損害賠償金等支出のため、2款総務費に充用いたしております。

歳出合計は234ページになりますが、112億9,451万1,185円、予算執行率は93.1%となっております。

次に、実質収支に関する調書でございますが、367ページをお開き願います。歳入歳出差し引き額は2億5,774万5,951円であります。実質収支額は翌年度へ繰り越すべき財源を差し引きました2億2,503万7,951円となっております。なお、平成21年度と20年度の実質収支の差額であります単年度収支はマイナス2,082万4,418円ありますが、実質単年度収支につきましては、財政調整基金積み立て、市債の繰上償還が黒字要素でありますので、合計いたしまして3億405万1,696円の黒字となっております。

以上が平成21年度一般会計歳入歳出決算の計数等の概要でございます。ご審査の上、ご認定

賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成21年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び平成21年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計歳入歳出決算、並びに平成21年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の3件について。

宇津木正紀市民課長。

○宇津木正紀市民課長 おはようございます。

7ページをお開きいただきたいと思っております。平成21年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

まず、歳入でございますが、合計で収入済額は26億975万7,067円で、調定額に対する収入率は90.4%でございます。

次のページをお開き願います。歳出合計額は25億2,656万6,758円で、前年度より1.4%の減額となっております。単年度収支は、歳入合計から基金繰入金と繰越額を引いた額と歳出から基金積立金を差し引いた額を比較するものでございまして、21年度の単年度収支はマイナス7,100万8,746円でありました。

それでは、事項別明細書によりましてご説明いたしますので、238ページをお開き願います。

歳入でございますが、1款国民健康保険税の収入済額は6億4,067万8,780円で、歳入総額の24.6%を占め、前年度比0.6%の増となりました。

1項1目一般被保険者国民健康保険税の収入済額は5億7,073万7,428円で、前年度に比べて1.5%の増額となりました。2目退職被保険者等国民健康保険税の収入済額は6,994万1,352円で、前年度比5.7%の減となっております。

次の240ページをお開き願います。2款使用料及び手数料の収入済額は45万8,070円で、保険税の督促手数料です。

3款国庫支出金は5億5,337万2,027円で、歳入総額の21.2%を占めており、前年度比6.2%

+

の減であります。

1 項 1 目療養給付費等負担金 4 億 2,727 万 7,420 円で、前年度より 1.9% の減、2 目の高額医療費共同事業負担金は 1,055 万 9,607 円で、80 万円を超える医療費について、県全体の共同事業として対応する制度であります。3 目特定健康診査等負担金は、20 年度から始められたもので 209 万 4,000 円で、前年度比 21.5% の増であります。

次のページをお開き願います。2 項 1 目財政調整交付金は 1 億 1,304 万 1,000 円で、市町村の財政力の不均衡を調整するために交付されるものであります。2 目出産育児一時金補助金は、平成 21 年 10 月から始められた補助制度であります。

4 款療養給付費交付金は 1 億 6,574 万 7,000 円で、歳入総額の 6.4% を占め、1 項 1 目療養給付費交付金は、支払基金から退職被保険者の医療費分として交付されるものであります。2 目の退職被保険者に係る交付金は、退職被保険者に係る老人保健拠出金プラス後期高齢者支援金相当額でございます。

5 款前期高齢者交付金は 6 億 3,098 万 3,662 円で、歳入総額の 24.2% を占め、20 年度から始められたものでありまして、前年度比 7.4% の増であります。

6 款県支出金、1 項 1 目高額医療費共同事業負担金は 1,055 万 9,607 円で、国庫支出金の共同事業負担金と同額であります。

次の 244 ページをお開き願います。2 目特定健康診査等負担金は 156 万 9,000 円で 13.9% の減、2 項 1 目財政調整交付金は、療養給付費の 7%、9,491 万 7,000 円でございます。

7 款 1 項共同事業交付金は、国保連合会から交付されるもので、1 項 1 目高額医療費共同事業交付金は 1,905 万 8,283 円で、80 万円を超える医療費の 59% が交付されるものであります。2 目保健財政共同安定化事業交付金は 2 億 2,016

万 3,267 円で、30 万円を超え 80 万円未満の医療費に対する交付金でございます。

8 款財産収入は 75 万 4,888 円で、給付基金積立金利子でございます。

9 款繰入金は 1 億 9,633 万 7,324 円で、歳入総額の 7.5% を占め、1 項 1 目一般会計繰入金は保険税の軽減などとして繰り入れたものでございます。

次の 246 ページをお開きください。2 項 1 目給付基金繰入金の 1 億円は、歳入不足が見込まれましたので基金を取り崩して繰り入れたものでございます。

10 款繰越金は 5,495 万 3,943 円で、歳入総額の 2.1% であります。

11 款諸収入は 2,020 万 4,216 円で、1 項延滞金は保険税の延滞金、3 項 1 目は一般被保険者の交通事故の医療費に伴う第三者納付金で、次の 248 ページをお開きください。2 目は退職被保険者の第三者納付金、3 目一般被保険者返納金は 13 万 5,981 円、5 目の雑入は 929 万 5,876 円で、主なものは老人保健拠出金還付金でございます。

次の 250 ページをお開き願います。歳出でございますが、1 款総務費は 2,556 万 1,155 円で、歳入総額の 1.0% の割合でございます。主なものの電算関係委託料が委託業者の変更によりまして減額となりまして、1 款全体で対前年度比 27.1% の減となりました。2 目連合会負担金は国保連合会への負担金でございます。

2 項 1 目賦課徴収費の主なものは国保税の賦課徴収の郵便料でございます。

次の 252 ページをお開き願います。3 項 1 目運営協議会費は、前年度比 44.9% の経費削減に努めたところでございます。

4 項 1 目趣旨普及費は、国保制度普及啓蒙のための印刷製本費などです。

5 項 1 目収納率向上特別対策事業費は、嘱託徴収員 1 名を雇用して対応しているところでございます。

2 款保険給付費は17億4,029万2,346円で、歳出総額の68.9%を占め、前年度に比べまして0.1%の増額となりました。

1 項療養諸費は15億6,570万1,208円で、対前年度比1.0%の増となりました。

次の254ページをお開き願います。2 項高額療養費は1 億6,285万1,138円で、対前年度比1.7%の増でございます。

次の256ページをお開き願います。4 項出産育児諸費は、24件分の出産育児一時金でございます。

5 項葬祭諸費は、44件の葬祭費でございます。

3 款後期高齢者支援金等は3 億2,180万1,794円で、歳出総額の12.7%を占めており、20年度からの支出で前年度比8.4%の増となっております。

4 款前期高齢者支援金等は91万5,009円で、前年度比129.1%の増となりました。

5 款老人保健拠出金は2 万6,464円で、対前年度比が99.9%の減でございます。

次の258ページをお開き願います。6 款介護納付金は1 億2,373万9,875円で、歳出総額の4.9%を占めており、6%の減となっております。

7 款共同事業拠出金は2 億8,616万9,576円で、歳出総額の11.3%を占め、過去の交付実績や被保険者数に応じて高額医療費共同事業拠出金を国保連合会に拠出するものでございます。

8 款保健事業費は1,492万2,221円で、対前年度比11.3%の減額となっております。

1 項1 目特定健康診査等事業費1,310万1,683円は、20年度から始まりまして9%の減額となりました。

2 項保健事業費は25.5%の減額となっております。

次の260ページをお開き願います。9 款基金積立金は75万4,888円で、給付基金積立利子分でございます。

11 款諸支出金は1,238万3,430円で、1 項償還金及び還付加算金は、一般及び退職被保険者の過年度保険税の還付金でございます。

次の262ページをお開き願います。2 項貸付金は75万9,000円、3 項指定公費給付金は29万6,787円でございます。

もう一度前に戻っていただきまして、13ページをお開き願います。13ページでございますが、平成21年度長井市老人保健医療費給付事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入合計は、調定額、収入済額とも1,824万8,371円で、対前年度比93.3%の減となりました。

次のページをお開き願います。歳出合計は、支出済額2,017万2,637円で、前年度に比べまして93.0%の減となりました。この結果、192万4,266円の歳入不足が生じました。このため、22年度会計から繰上充用の専決処分をさせていただき、6 月議会に報告をいたしたところでございます。

それでは、事項別明細書によりましてご説明申し上げますので、280ページをお開き願います。

歳入でございますが、2 款1 項国庫負担金は1,786万2,061円で、歳入総額の97.9%を占めており、老人医療費過年度分国庫負担金でございます。

3 款1 項県負担金は19万3,146円で、歳入総額の1.1%割合で、老人医療費の12分の1相当額でございます。

4 款1 項一般会計繰入金は19万3,134円で、医療費及び事務費として一般会計から繰り入れしているものでございます。

次の282ページをお開き願います。6 款諸収入は、3 項3 目雑入の通知事務費1 件分でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。次

のページをお開き願います。1款1項総務管理費は、国保連合会の委託料でございます。

2款医療諸費は231万561円で、歳出総額の11.5%を占め、対前年度に比べまして99.2%の減となりました。

主なものは1項1目医療給付費で、医療機関などに診療報酬として支払ったものでございます。

3款諸支出金は54万6,309円で、1項1目の支払基金への償還金でございます。

4款前年度繰上充用金1,731万5,752円は、20年度会計が歳入不足になったため、21年度会計から支出したものでございます。

以上、老人保健でございまして、もう一度前に戻っていただきまして、27ページをお開き願います。平成21年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入合計の収入済額は2億7,011万1,227円で、対前年度比8.2%の増となりました。

次のページをお開き願います。歳出合計の支出済額は2億6,592万7,627円で、対前年度比8.5%の増となりました。

それでは、事項別明細書によりましてご説明申し上げますので、352ページをお開き願います。

歳入でございまして、1款後期高齢者医療保険料は1億6,382万8,100円で、歳入総額の60.7%を占めております。

1項1目特別徴収保険料は、還付未済額を除きますと収納率100%、2目普通徴収保険料は5,067万6,600円で収納率96.1%でございます。

2款使用料及び手数料は11万3,200円で、1項2目の督促手数料でございます。

3款繰入金は9,890万7,431円で、歳入総額の36.6%を占め、1項1目事務費繰入金2,313万1,322円の主なものは後期高齢者医療広域連合負担分でございます。2目一般会計繰入金

7,577万6,109円で、保険料軽減相当分でございます。まして、県が4分の3、市が4分の1の負担割合でございます。

4款繰越金は453万4,500円で、歳入総額の1.7%、対前年度比につきましては皆増でございます。

5款諸収入は272万7,996円でありまして、次の354ページをお開き願います。1項1目延滞金は4万4,400円、2項1目保険料還付金は8万7,800円、4項1目雑入は、過年度分後期高齢者医療広域連合事務費精算金でございます。

次に、歳出でございますが、次の356ページをお開き願います。1款総務費は666万9,604円で、歳出総額の2.5%を占め、1項1目一般管理費の45万9,746円の主なものは郵便料でございます。

2項1目賦課徴収費620万9,858円の主なものは電算業務委託料でございます。

2款後期高齢者医療広域連合納付金の2億5,918万1,423円は、歳出総額の97.5%を占め、保険料等分として1億6,423万3,700円、保険基金安定制度分として7,577万6,109円、事務費分として1,917万1,614円を後期高齢者医療広域連合に支払ったものでございます。

3款諸支出金7万6,600円は、1項1目の保険料還付金でございます。

以上でございます。よろしく審査の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成21年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算及び平成21年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の2件について。

鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 おはようございます。

決算書の11ページをごらんいただきたいと思います。平成21年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

初めに、歳入につきましては、収入済額合計が26億8,382万832円で、前年度と比較しまして3億8,418万9,387円、16.7%の増となっております。調定額に対して99.4%でございます。

12ページをお開き願います。歳出につきましては支出済額合計が26億8,328万9,230円で、前年度と比較しまして3億8,421万4,847円、16.7%の増となっております。これは主に公共下水道管理センター改築更新工事委託料、借りに伴う長期債繰上償還元金の増などによるものでございます。予算現額に対する執行率は99.8%でございます。歳入歳出差し引き額53万1,602円は翌年度に繰り越しをさせていただきます、決算といたしたところでございます。

266ページをお開き願います。事項別明細書によりご説明申し上げます。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目下水道受益者負担金収入済額は2,161万9,100円で、歳入総額の0.8%となっております。収納率は現年度分で95.1%、滞納繰越分で11.2%となっております。

2款使用料及び手数料、1項1目下水道使用料につきましては、収入済額は2億8,719万9,940円で、歳入総額の10.7%となっております。収納率は現年度分で98.1%、滞納繰越分で38.9%となっております。また、不納欠損額は38件で54万3,490円が生じております。これは転出後、行方不明などにより時効となったものなど、収入不可能と判断しまして不納欠損処分とさせていただいたものでございます。2目下水道使用料は37万7,980円でございます。

3款国庫支出金、1項1目下水道事業費国庫補助金は、公共下水道事業補助金、汚水処理施設整備交付金など1億4,680万円で、収入総額の5.5%となっております。

4款繰入金、1項1目一般会計繰入金は5億6,682万8,000円で、歳入総額の21.1%となっております。

268ページをお開き願います。5款繰越金、1項1目繰越金は前年度の繰越金55万7,062円で、6款諸収入、1項1目延滞金は受益者負担金の2万1,800円であります。

7款市債、1項1目下水道事業債につきましては16億6,040万円で、歳入総額の61.9%でございます。

270ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。

1款下水道事業費、1項下水道事業費につきましては支出済額6億3,797万5,952円で、予算現額に対する執行率は99.3%となっております。うち、1目公共下水道総務費は7,260万8,604円で、主なものといたしまして職員人件費のほか、下水道使用料徴収事務及び電算処理業務などの委託料、置広共同処理事務分担金や排水設備等設置改造資金利子補給金、その他関係諸団体の負担金などがございます。2目公共下水道事業費につきましては4億8,688万5,942円で、建設改良に要した経費であります。主な内容といたしまして職員人件費のほか、273ページをごらんください。公共下水道管理センター改築更新工事委託料1億3,000万円、地質調査実施設計及び下水道台帳整備業務などの委託料、汚水管路布設及び舗装復旧工事など19件分の工事請負費のほか、下水道工事に伴う上水道移設補償費などがございます。なお、公共下水道管理センター改築更新工事は、沈砂池及び主ポンプ設備の改築更新工事を21年度、22年度の2カ年で日本下水道事業団に委託をし、また請負工事明細については、273ページ、275ページの備考欄のとおりでございます。なお、管渠延長で約3,230メートルを施工しまして、約20ヘクタール拡大をしております。21年度末における整備状況につきましては、認可面積743ヘクタールに対し、657ヘクタールが完了し、整備率で88.4%となっております。274ページをごらんください。3目管渠管理費は706万3,159円で、

+

汚水管路及び下水道などの維持管理に要した経費で、マンホール補修、下水道取付管補修などの請負工事費等が主な内容でございます。次に、4目管理センター費は7,141万8,247円で、処理場運転管理に要した経費で、主な内容といたしまして、汚泥の濃縮及び消臭用の薬品費や処理施設の光熱水費、277ページ、管理センター管理運営業務委託料3,263万4,000円及び脱水ケーキ処分委託料1,907万4,814円など、その他管理センターの管理及び設備機械等の清掃、点検等の委託料でございます。

2款1項公債費につきましては20億4,531万3,278円で、高利率の長期債繰上償還のため、前年度と比較しまして2億6,624万9,559円、15.0%の増となっております。1目の元金につきましては17億8,147万7,176円で、長期債償還元金でございます。2目利子は2億6,383万6,102円で長期債償還利子などでございます。

以上が平成21年度長井市公共下水道事業特別会計の決算の概要でございます。

17ページにお戻り願います。続きまして、平成21年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、収入済額合計が2億2,355万6,059円で、前年度と比較いたしまして4,744万750円、26.9%増となっております。調定額に対して98.9%でございます。

18ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計2億2,305万5,592円で、前年度と比較しまして4,751万1,243円、27.1%の増となっております。これは主に借換債による長期債償還元金の増加などによるものでございます。予算現額に対する執行率は99.5%でございます。歳入歳出差し引き額50万467円は翌年度に繰り越しをさせていただきまして、決算といたしたところでございます。

296ページをお開き願います。それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目農業集落排水事業分担金は、収入済額15万円でございます。

2款使用料及び手数料、1項1目施設使用料につきましては、収入済額は5,402万1,099円で、今泉地区、大久保地区処理施設使用料でございます。収納率は現年度分97.1%、滞納繰越分31.8%となったところでございます。また、不納欠損額11件で28万1,952円が生じており、転出後行方不明などにより時効となったものを収入不可能と判断しまして、不納欠損処分とさせていただきます。

3款繰入金、1項1目一般会計繰入金は7,581万4,000円で、歳入総額の33.9%となっております。

4款繰越金は、前年度繰越金57万960円で、5款諸収入はございません。

298ページをお開き願います。6款市債、1項1目下水道事業債につきましては9,300万円で、歳入総額の41.6%でございます。

次に、300ページをお開き願います。歳出につきましてご説明申し上げます。

1款1項農業集落排水事業費につきましては、支出済額3,935万1,491円で、予算現額に対する執行率は97.3%でございます。うち、1目農業集落排水事業総務費は1,184万6,702円で、主なものといたしまして職員人件費、使用料検針電算業務等事務委託料、公課費として消費税納付額などでございます。2目今泉排水施設運営費につきましては1,959万6,385円で、処理施設の光熱水費及び修繕料並びに管理運営業務委託料などが主なものでございます。3目大久保排水施設運営費につきましては790万8,404円で、処理施設の運転管理に要した経費でありまして、処理施設の光熱水費及び管理運営業務委託料などが主なものでございます。

302ページをお開き願います。2款1項公債費につきましては1億8,370万4,101円で、高利

率の長期債繰上償還を実施いたしまして、実施額が前年度より増加し、対前年度比4,610万6,337円、33.5%増となっております。1目元金につきましては1億4,463万6,375円で、長期債償還元金でございます。2目利子につきましては3,906万7,726円で、長期債償還利子などがございます。

以上が平成21年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご認定賜りますようお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成21年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算及び平成21年度長井市定額給付金給付事業特別会計歳入歳出決算の2件について。

遠藤健司企画調整課長。

○遠藤健司企画調整課長 おはようございます。

それでは、平成21年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の15ページをお開きください。まず、歳入合計でございますが、収入済額は、予算現額と比較いたしまして100万9,565円の減で1億3,511万9,435円でございます。歳入の項目といたしましては、負担金、基金の財産運用収入、一般会計及び基金からの繰入金となっております。

次に、16ページをお開きください。歳出合計でございますが、支出済額は、予算現額と比較いたしまして、不用額100万9,565円、1億3,511万9,435円でございます。内訳といたしましては、山形鉄道助成費、基金積立金でございます。なお、歳入歳出同額でございます。

次に、事項別明細書によりご説明を申し上げます。

290ページをお開きください。歳入についてご説明申し上げます。1款分担金及び負担金、1項1目山形鉄道運営助成費負担金につきましては、収入済額4,398万円で、県及び沿線自治体の財政支援の方針に基づくものでございます。

2款財産収入、1項1目利子及び配当金につきましては、収入済額11万9,435円で、基金の運用による利子でございます。

3款繰入金につきましては、収入済額9,102万円で、3款1項1目一般会計繰入金1,602万円は、長井市の山形鉄道運営助成費負担分を一般会計から繰り入れたものでございます。

3款2項1目基金繰入金7,500万円は、山形鉄道運営助成費相当額を基金より繰り入れたものでございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

292ページをお開きください。1款山形鉄道助成費、1項1目運営助成費につきましては、支出済額7,500万円で、県及びフラワー長井線沿線の自治体の財政支援の方針に基づき助成したところでございます。

2款基金積立金につきましては、支出済額6,011万9,435円で、その内訳は、山形県と沿線自治体からの負担金4,398万円、長井市一般会計からの繰入金1,602万円、基金の運用利子11万9,435円を積み立てたものでございます。

以上が平成21年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、平成21年度長井市定額給付金給付事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の29ページをごらんください。この事業につきましては、平成20年度国庫補助事業の定額給付金給付事業費補助金、定額給付金給付事務費補助金を明許繰り越しにより21年度まで継続して行ったものでございます。21年度執行分の決算についてご説明させていただきます。

まず、歳入でございます。1款1項国庫補助金の収入済額は、予算現額185万8,000円に対し、当初積算の事務費の縮減によりゼロとなり、2款1項繰越金は、予算現額2億1,404万5,000円

に対し、収入済額は607円増の2億1,404万5,607円となっております。歳入合計は、予算現額2億1,590万3,000円に対し、繰越金のみ2億1,404万5,607円となりました。

次のページをお開きください。歳出でございますが、支出済額は、1款1項定額給付金給付事務費では736万1,607円、2款1項定額給付金給付事業費では2億668万4,000円となり、歳出合計は、歳入合計と同額の2億1,404万5,607円となっております。

次に、事項別明細書によりご説明を申し上げます。

362ページをお開きください。まず、歳入でございますが、1款1項国庫補助金の収入済額は、調定額と同額でゼロ、2款1項繰越金については、20年度からの繰り越しで、調定額と同額の2億1,404万5,607円で、歳入合計は、繰越金のみ2億1,404万5,607円となっております。

次のページをお開きください。歳出でございますが、支出済額は、1款1項定額給付金給付事務費では、事務補助職員賃金126万470円などを含む736万1,607円、2款1項定額給付金給付事業費では、定額給付金2億576万8,000円などを含む2億668万4,000円で、歳出合計は2億1,404万5,607円となっております。

以上が平成21年度長井市定額給付金給付事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。ご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

**○高橋孝夫委員長** 次に、認第1号の平成21年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

松木幸嗣健康課長。

**○松木幸嗣健康課長** 平成21年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書19ページをお開きください。初めに、歳入でございますが、収入済額合計は前年度に

比べまして85万2,132円、4.8%の増の1,867万936円でございます。収入の内訳といたしまして、療養費交付金、利用料、一般会計繰入金、繰越金、雑入でございます。

次の20ページをお開きください。歳出といたしまして、事業費としての支出済額が前年度比4.8%増の1,857万558円でございます。歳入歳出の差し引き残額10万378円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細によりご説明申し上げます。

306ページをお開きください。歳入でございますが、1款1項療養費交付金、1目訪問看護費交付金は、収入済額1,123万6,012円でございます。前年度に比べまして36万2,327円、3.1%の減となりました。内訳といたしましては、介護保険分837万5,597円、医療保険分286万415円でございます。訪問延べ回数は1,285回で、前年度に比べまして203回、13.6%の減となりました。

2款1項1目利用料、収入済額は107万4,798円でございます。内訳は介護保険、医療保険の利用者負担分と保険外の交通費分等でございます。こちらは前年度に比べまして42万943円、28.1%の減でございました。

3款1項1目一般会計繰入金は626万円で、前年度に比べまして166万円、36.1%の増でございました。

4款1項1目繰越金は9万9,626円でございます。

5款諸収入、1項1目雑入は500円でございます。国保協力金でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

次の308ページをお開きいただきたいと思っております。1款1項事業費でございます。1目訪問看護事業費1,857万558円の内訳は、2節、3節、4節につきましては職員の給料、職員手当等、また共済費でございます。7節賃金274万1,175円につきましては、定時補助職員及びパート看



護師3名の雇い上げ賃金でございます。11節需用費34万4,919円は車の燃料費、医療材料費、消耗品等でございます。12節役務費29万1,295円は電話料、訪問看護サービス情報公表手数料、看護時の衣服クリーニング手数料等でございます。13節委託料5万7,000円、14節使用料及び賃借料28万2,762円は、請求事務、看護情報等に利用しております訪問看護支援ソフトのリース料及びシステム保守管理の費用でございます。18節備品購入費5万4,799円は洗濯機の購入でございます。19節負担金補助及び交付金1万3,000円は、山形県内の訪問看護ステーションで組織してあります訪問看護ステーション連絡協議会の年会費等でございます。

以上、平成21年度長井市訪問看護事業特別会計の概要につきまして説明申し上げます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成21年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。

小泉良一福祉事務所長。

○小泉良一福祉事務所長 21ページをお開きいただきたいと存じます。平成21年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明を申し上げます。

歳入の合計は、前年度比1.2%増の25億1,187万3,836円で、調定額に対する収入率は99.4%となっております。

次に、22ページをお開きいただきたいと存じます。歳出合計でございますが、前年度比2.9%増の24億6,610万8,690円でございます。歳入歳出差し引き残額4,576万5,146円は、平成22年度に繰り越しをいたすものでございます。

以下、事項別明細書によりご説明申し上げます。

312ページをお開き願いたいと思います。1款介護保険料は、調定額4億4,035万1,459円、収入済額4億2,538万8,661円で、調定額に対す

る収納率は96.6%で、歳入総額の16.9%を占めております。対前年度比は4.0%の減でございます。第4期介護保険計画の所得階層別保険料について、第4段階と第5段階を2つに分けて、保険料の低い階層を設定したためでございます。

2款使用料及び手数料は7万5,260円で、介護保険料の督促手数料でございます。

3款国庫支出金は6億358万560円で、歳入総額の24.0%を占めております。

1項国庫負担金は4億1,533万743円で、保険給付費に対する国の法定負担分でございます。

2項国庫補助金は1億8,824万9,817円で、高齢者の割合などに応じて交付を受けた調整交付金と地域支援事業交付金でございます。

314ページをお開きください。4款支払基金交付金は7億780万5,000円で、歳入総額の28.2%を占めており、保険給付費及び地域支援事業費に対する2号被保険者の法定負担分として、社会保険診療報酬支払基金から交付を受けたものでございます。

5款県支出金は3億5,689万2,364円で、歳入総額の14.2%を占めており、1項県負担金は3億4,475万2,690円で、保険給付費に対する県の法定負担分でございます。

2項県補助金は1,213万9,674円で、地域支援事業費に対する県の法定負担分として交付を受けたものでございます。

6款財産収入は42万8,644円で、介護給付費準備基金積立金1億9,779万285円に対する利子収入でございます。

7款繰入金は3億3,332万960円で、歳入総額の13.3%を占めております。

1項1目介護給付費繰入金2億8,867万7,274円は、保険給付費に対する市の法定負担分として、2目地域支援事業繰入金1,478万2,568円は、地域支援事業費に対する法定負担分として、次に、316ページ、お開きいただきたいと存じま

す。3目その他一般会計繰入金2,330万4,118円は、総務管理費、賦課徴収費など事務経費として繰り入れをいただいものでございます。

8款諸収入は41万9,269円でございます。

1項延滞金、加算金及び過料は6万9,537円で、1号被保険者の介護保険料の延滞金でございます。

2項雑入は34万9,732円で、交通事故による第三者納付金及び生活管理指導員派遣等、地域支援事業利用者負担金でございます。

318ページをお開きください。9款繰越金は8,396万3,118円で、平成20年度会計から繰り越しをしたものがございます。

次に、歳出についてご説明を申し上げます。

320ページをお開きください。1款総務費は2,387万1,118円で、前年度と比較しまして36.6%の減でございます。

1項総務管理費は802万3,456円で、介護保険の電算業務などの一般事務経費でございますが、電算システムの変更により前年度対比56.4%の減となりました。

2項徴収費は104万6,600円で、保険料の賦課徴収費でございますが、これも電算システムの変更により、通知する印刷物のつくり直しなどにより、前年度比154.4%の増となりました。

3項介護認定審査会費は1,422万4,248円で、要介護認定審査会時の報酬、認定調査、主治医意見書作成などの事務経費でございます。

322ページをお開きください。4項趣旨普及費は57万6,814円で、5項地域ケア包括会議費の支出はございませんでした。

2款保険給付費は23億961万4,795円で、歳出総額の93.6%を占めており、前年度比3.6%の増となっております。

1項介護サービス等諸費は20億4,536万8,957円で、居宅介護サービス給付費、地域密着型介護サービス給付費、施設介護サービス給付費等、要介護認定受給者の保険給付費でございます。

前年度比4.5%増となりましたが、これは介護報酬が3%伸びたことに加え、要介護認定者の増加によるものがございます。

2項介護予防サービス等諸費は1億4,866万7,993円で、要支援認定受給者の保険給付費でございます。要支援認定者の減少などで、前年度対比6.1%の減となりました。

324ページをお開きください。3項その他諸費296万4,195円は、現物給付に係る支払い審査手数料でございます。

4項高額介護サービス等費は3,303万8,850円で、3,319件支給をしております。5項高額医療合算介護サービス等費は204万8,922円で、医療及び介護利用者の負担を軽減する措置で、一定の上限を超える額を給付するものであり、21年度新規の制度でございます。

6項特別短期入所サービス費の支出はございませんでした。

7項特定入所者介護サービス等費は7,752万5,878円で、施設サービス利用時の居住費、食費負担等、低所得者の軽減分を補てんするための給付でございます。

326ページをお開きください。3款財政安定化基金拠出金の支出はございませんでした。

県内保険者の財政運営が安定しておりまして、基金からの資金貸し付けを受ける事例がなく、基金が十分確保されていることから、拠出金の支出がなかったものがございます。

4款地域支援事業費は7,659万8,290円で、介護予防の推進や地域における包括的、継続的なマネジメント機能を強化するための事業費でございます。

1項介護予防事業費は3,514万3,272円で、転倒骨折予防教室や栄養バランス教室などの特定高齢者あるいはふれあいサロン、ミニデイサービス事業などの一般高齢者を対象とした介護予防事業でございます。

328ページをごらんください。2項包括的支

援事業・任意事業費は4,145万5,018円で、介護状態にならないようにするための予防プランの作成、権利擁護を始めとする総合相談や任意事業としての高齢者見守りお伺いコール事業や食の自立支援事業などの長井市独自の生活支援事業などでございます。

5款基金積立金は4,347万2,000円を積立したものでございます。

332ページをお開きください。6款諸支出金は1,255万2,487円で、保険料の過年度償還金及び介護給付費負担金の精算による返還金でございます。

7款予備費の支出はございませんでした。

以上、決算の概要についてご説明をいたしました。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願いを申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成21年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算について。

浅野敏明建設課長。

○浅野敏明建設課長 それでは、平成21年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算概要についてご説明を申し上げます。

23ページをお開き願いたいと思います。歳入につきましては、収入済額合計が8,327万4,925円で、調定額に対しましては100%となっております。

次ページの歳出についてご説明申し上げます。支出済額合計8,276万189円で、予算現額に対する執行率は99.5%となっております。歳入歳出差し引き51万4,736円は翌年度に繰り越しをさせていただきますまして、決算といたしたところでございます。

それでは、事項別明細書でご説明申し上げます。

336ページをお開き願います。先に歳入でございますが、1款分担金及び負担金、1項1目浄化槽事業分担金は、現年度分で収入済額813

万5,000円で、収納率は100%となっております。

2款使用料及び手数料 1項1目浄化槽使用料につきましても収入済額1,606万7,540円で、収納率100%になったところでございます。

3款国庫支出金、1項1目特定地域生活排水処理事業国庫補助金は2,430万1,000円で、歳入総額の29.2%となっております。

4款繰入金、1項1目一般会計繰入金は1,159万1,000円で、歳入総額の13.9%となっております。

5款繰越金、1項1目繰越金は50万5,785円で、前年度の繰越金でございます。

6款諸収入、次ページをお開き願いたいと思います。3項1目雑入は177万4,600円で、消費税の還付金でございます。

7款市債、1項1目下水道事業債は2,090万円で、歳入総額の25.1%となっております。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

340ページをお開き願いたいと思います。1款1項浄化槽事業費につきましては、支出済額7,869万6,574円で、予算現額に対する執行率は99.5%となっております。うち1目浄化槽事業総務費は1,663万914円で、主なものとしまして、13節委託料で浄化槽保守点検清掃委託料1,187万5,500円、22節補償補填及び賠償金で汚水処理施設交付金一部返還金としまして245万7,016円などがございます。2目浄化槽事業費につきましては6,206万5,660円で、主なものとしまして、2節から4節までは職員2名分の人件費、15節工事請負費は4,842万6,000円で、浄化槽設置工事30件、43基設置の工事請負費などでございます。1款合計では7,869万6,574円で、前年度対比2,132万5,104円、21.3%減となっております。

2款1項公債費、1目の元金につきましては30万6,331円で、長期債償還元金であります。

次ページをお開き願いたいと思います。2目の利子につきましては375万7,284円で、長期債

+

償還利子でございます。

以上が平成21年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長 次に、認第1号の平成21年度長井市用地特別会計歳入歳出決算について。

平 英一財政課長。

○平 英一財政課長 それでは、平成21年度長井市用地特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明いたします。

決算書の25ページをお開き願います。歳入の収入済額は、予算現額と比較いたしまして800円減の421万1,200円で、前年度と同額でございます。

26ページをお開き願います。次に、歳出でございますが、支出済額は予算現額と比較いたしまして800円減の421万1,200円で、歳入歳出同額でございます。

以下、事項別明細書によりご説明申し上げますので、346ページをお開き願います。

歳入1款1項一般会計繰入金は、平成17年度に運動公園整備事業用地取得の財源として借り入れいたしました土地開発公社経営健全化対策債3億80万円の償還金利子の財源として一般会計から繰り入れたものでございまして、421万1,200円であります。

348ページをお開き願います。歳出でございますが、1款1項公債費は、ただいま申しあげました土地開発公社経営健全化対策債3億80万円の21年度分償還金利子でございまして、421万1,200円でございます。

以上が用地特別会計の決算概要でございます。よろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。

○高橋孝夫委員長 ここで、昼食のため暫時休憩いたします。

再開は午後1時といたします。

午前 11時53分 休憩

午後 1時00分 再開

○高橋孝夫委員長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

午前に引き続き、概要の説明を求めます。

## 認第2号 平成21年度長井市水道事業会計決算認定について

○高橋孝夫委員長 次に、認第2号 平成21年度長井市水道事業会計決算認定についての1件について。

鈴木要一郎上下水道課長。

○鈴木要一郎上下水道課長 認第2号 平成21年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書391ページ、水道1ページをお開き願います。以降、ページ数については水道ページで申し上げます。

決算報告書からご説明申し上げます。これは、予算額に対する決算額の対比を消費税込みで記載してございます。

初めに、収益的収入及び支出につきましては、収入の第1款水道事業収益は、予算額6億4,845万6,000円に対し、決算額は6億5,055万2,964円となり、209万6,964円の増となっております。

一方、支出の第1款水道事業費用は、予算額6億2,386万7,000円に対し、決算額は6億1,846万4,159円となり、540万2,841円の不用額となりました。

水道2ページをお開き願います。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款資本的

収入は、予算額 3 億 5,502 万 2,000 円に対し、決算額は 3 億 5,321 万 6,950 円となり、180 万 5,050 円の減となっております。

水道 3 ページをごらんください。支出でございますが、第 1 款資本的支出は、予算額 9 億 7,221 万 5,000 円に対し、決算額は 9 億 5,756 万 8,267 円となり、1,464 万 6,733 円の不用額となりました。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 6 億 435 万 1,317 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、利益剰余金をもって補ってんさせていただきます。

続いて、水道 4 ページをお開き願います。損益計算書より経営状況につきましてご説明申し上げます。なお、詳細につきましては、後ほど収益費用明細書にてご説明申し上げます。

営業収益につきましては 6 億 1,746 万 3,026 円で、対前年度比 1,010 万 6,656 円、1.6%の減となり、主に給水収益で約 683 万 6,000 円、1.1%の減少によるものでございます。

営業費用につきましては 4 億 8,701 万 5,902 円で、対前年度比 697 万 5,100 円、1.4%の減となり、資産減耗費で約 1,515 万 1,000 円、74.3%の増加などに対し、浄水及び配給水費で約 1,620 万 8,000 円、11.7%、業務及び総係費で約 622 万 7,000 円、8.1%が減少したことなどによるものでございます。

営業収益から営業費用を差し引いた営業利益につきましては 1 億 3,044 万 7,124 円で、前年度対比 313 万 1,556 円、2.3%減となっております。

次に、水道 5 ページ、営業外収益は、前年度より約 78 万 7,000 円減少し 236 万 9,964 円、営業外費用は、主に企業債の償還に係る支払利息の減少により、前年度に比べ約 1,183 万 7,000 円減の 1 億 1,895 万 5,326 円となりました。

当年度の損益につきましては、営業及び営業外を合わせた経常収益 6 億 1,983 万 2,990 円に対し、経常費用は 6 億 597 万 1,228 円で、差し引き

1,386 万 1,762 円の経常利益となりました。なお、経常収支比率は前年度より 1.3 ポイントアップの 102.3%となっております。

経常利益に特別利益 13 万 554 円を加え、特別損失の 461 万 8,516 円を差し引いた当年度純利益につきましては 937 万 3,800 円で、前年度より 651 万 2,722 円増の黒字決算で終了いたすことができました。また、当年度繰越利益剰余金 1,669 万 5,539 円を加えた当年度未処分利益剰余金につきましては 2,606 万 9,339 円となったところでございます。

続きまして、水道 9 ページをお開き願います。ただいま損益計算書で申し上げました当年度未処分利益剰余金の処分案でございます。減債積立金に 50 万円を積み立てまして、翌年度繰越利益剰余金を 2,556 万 9,339 円といたす案でございます。

次に、水道 10 ページをお開き願います。貸借対照表により財産状況につきましてご説明申し上げます。

初めに、資産の部でございますが、固定資産合計は 81 億 96 万 3,230 円で、第 4 次拡張事業及び配水施設整備に伴い、前年度と比べ 2 億 6,996 万 4,760 円、3.4%増となっております。主なもので建物は減価償却分で約 6,539 万円の増、構築物は約 3 億 3,515 万円の増、機械及び装置は約 3 億 6,869 万円の増、建設仮勘定は清水町浄配水場の更新工事の完成により、本勘定として費用化したため約 5 億 201 万円の減となっております。

次ページの流動資産合計は 4 億 2,751 万 7,869 円で、前年度より 2 億 5,805 万 7,913 円、37.6%の減となっております。これは主に営業未収金で約 360 万円の増に対し、現金及び預金で企業債の繰上償還や清水町浄配水場更新事業工事費及び配水施設整備工事費などに充当いたしましたもので約 2 億 4,691 万円の減などによるものでございます。なお、営業未収金は 3 条未収金です

+

が、このうち水道料金については約2,585万円となっております。固定資産合計に流動資産合計を加えた資産合計につきましては、85億2,848万1,099円でございます。

次に負債の部、流動負債でございますが、合計6,472万4,381円で、前年度対比2,041万4,607円、46.1%増となっております。営業未払い金の主なものとしましては施設管理業務委託料約333万円などがございます。その他の未収金は、主に配水管布設替工事費の約1,558万円などで、預かり金はほとんどが下水道使用料等でございます。なお、流動資産と流動負債の対比である支払い能力を示す流動比率は前年度対比886.7ポイントダウンの660.5%であります。

次に資本の部、資本金でございますが、自己資本金は建設改良積立金からの繰入金及び一般会計からの長井ダムへの出資金で約1億7,801万円の増、借入資本金は建設改良に要する企業債で約1億1,048万円の減で、資本金合計は60億13万645円で、前年度対比6,753万3,452円、1.1%の増であります。

水道12ページをお開き願います。剰余金でございますが、資本剰余金合計は24億1,135万6,734円で前年度より7,458万4,988円、3.2%増となりました。主な内容ですが、水道水源開発事業や石綿セメント管更新事業などに伴う国庫補助金が約6,149万円の増、工事負担金が約150万円の増、その他の資本剰余金として下水道事業に伴う配水管布設替工事補償費などを約1,151万円の増等々でございます。

次に、利益剰余金でございますが、合計5,226万9,339円で、前年度対比1億5,062万6,200円で、74.2%の減となりました。内訳といたしまして減債積立金が20万円の増、建設改良積立金は1億6,000万円の減、当年度分未処分利益剰余金が約917万円の増でございます。資本金に剰余金を加えた資本合計は84億6,375万6,718円で、流動負債を加えた負債資本合計

は前年度対比1,190万6,847円、0.1%増の85億2,848万1,099円となり、先ほどの資産合計と同額で一致しております。

次に、水道39ページをお開き願います。収益費用明細書についてご説明申し上げます。

初めに収益でございますが、1款水道事業収益の総額は6億1,996万3,544円、前年度対比1,076万5,592円、1.7%減でございます。

1款1項営業収益につきましては6億1,746万3,026円で、前年度対比1,010万6,656円、1.6%の減となりました。内訳でございますが、営業収益の96.7%を占める1目給水収益は5億9,688万1,141円で、前年度より683万5,679円、1.1%の減収となりました。これは主に給水人口の減少や景気低迷による使用者の節水意識の高揚により、水需要が減少したものととらえているところでございます。2目加入金は606万5,000円、3目受託工事収益はございません。4目その他営業収益については1,230万3,485円で、各種手数料や消火栓移設及び修繕などの一般会計からの負担金をいただいたもの、次のページお願います。受託金の下水道使用料収納業務受託料及び農集使用料検針電算業務受託料などがございます。5目他会計繰入金は、公共下水道工事に伴う給水管布設替工事費の221万3,400円でございます。

次に、2項営業外収益につきましては、受取利息、雑収益、県補助金合わせて236万9,964円で、雑収益にはボトルドウォーター収益30万7,000円、エコカー補助金50万円などが含まれております。

3項特別利益は、消費税還付加算金でございます。

水道41ページをごらんください。収益に対する費用でございます。1款水道事業費用の総額は6億1,058万9,744円で、前年度対比1,727万8,314円、2.8%の減となりました。

1項営業費用につきましては4億8,701万

5,902円で、前年度対比697万5,100円、1.4%減となりました。内訳につきましては、1目浄水及び配給水費は1億2,241万9,035円で、職員人件費のほか各施設の管理業務、配給水管台帳作成などの委託料や配水施設などの修繕費、次ページの下水道工事に伴う給水管布設替工事費、各浄水場、中継場などの動力費などの費用でございます。前年度より1,620万8,081円の減となり、委託料や修繕費の増加に対し、開閉栓業務の民間委託による職員1名の減や動力費の減少によるものでございます。2目受託工事費はございません。3目業務及び総係費は7,065万6,385円で、前年度に比べ621万2,465円の減でございます。これは事業経営に関する経常費用でございます。主なものとしまして職員人件費、電算業務委託料、会計システム機器の賃借料などがございます。次に、水道44ページをお開き願います。4目減価償却費は2億5,840万1,788円で、営業費用の53.1%を占め、前年度より84万1,766円の増で、5目資産減耗費は3,553万8,694円、前年度より1,515万680円の増となりました。これは清水町浄配水場更新工事や石綿セメント管工事などによる固定資産除却費が増加したことによるものでございます。

2項営業外費用につきましては、企業債の支払利息及び雑支出を合わせて1億1,895万5,326円でございます。高率の公営企業債の公的資金補償金免除繰上償還により支払利息が軽減され、前年度対比1,183万6,543円の減となりました。

3項特別損失については、冬期水道料金精算還付金、不納欠損処分金など461万8,516円でございます。なお、不納欠損処分につきましては水道料金に係るもので、平成15年度、16年度分、72件、未復旧解消事業分担金及び給水装置工事費負担金の平成7年度から平成9年度分6件でございますが、転出後所在不明、会社倒産、自己破産、時効などにより回収不能と判断し、不納欠損させていただいたものでございます。

次に、水道45ページをごらんください。資本的収支明細書についてご説明申し上げます。

初めに、収入でございますが、1款資本的収入の総額は3億5,321万6,950円で、前年度対比1億9,266万9,000円、35.3%減となりました。

内訳につきましては、1項企業債は、備考欄の各事業費に充てられたもので2億5,400万円、前年度より1億8,110万円の減、2項分担金及び負担金は、消火栓設置工事に伴う一般会計負担金で211万500円、3項国庫補助金は、長井ダムへの補助金及び石綿セメント管更新事業補助金で6,701万3,000円、前年度より1,149万4,000円の減、4項その他の補償金は、下水道工事に伴う配水管布設替工事費1,208万4,450円、5項出資金は1,800万9,000円で、地方公営企業法の繰出基準に基づき一般会計から繰り入れしていただいたものでございます。

水道46ページをお開き願います。支出でございますが、第1款資本的支出の総額は9億3,113万6,707円で、前年度より9,072万5,512円、8.9%減となりました。

内訳につきましては、1項1目事務費は、建設に関する職員人件費などがございます。2目第4次拡張事業費は4億2,389万9,028円で、前年度より1億2,312万6,441円の減でございます。内容につきましては、清水町浄配水場更新事業及び石綿セメント管更新事業などを実施いたしましたものでございます。なお、清水町浄配水場更新事業については、本年3月をもって全施設の完成をいたしました。また、石綿セメント管更新事業については、21年度末において計画更新総延長30.2キロメートルのうち、約27.0キロメートルが完了し、進捗率が89.4%に達しております。なお、平成22年度が事業完了年度となっております。水道47ページをごらんください。3目水源開発費は5,370万8,122円で、長井ダム使用権に係る負担金及び企業債利息でございます。4目配水施設整備費は3,199万8,990円で、

前年度より3,090万7,417円の減でございます。単独の配水管布設工事費でございます。5目資産購入費は3,074万8,765円で、寺泉配水池遠方監視制御設備設置、量水器の購入に、車両2台の購入などであります。

次に、2項1目企業債償還金につきましては3億6,447万5,548円で、前年と比べ繰上償還額の増加により2,718万5,831円の増となりました。

以上が平成21年度長井市水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

## 平成21年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○高橋孝夫委員長 以上で概要の説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ここで総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名をいたします。

### 蒲生光男委員の総括質疑

○高橋孝夫委員長 順位1番、議席番号6番、蒲生光男委員。

○6番 蒲生光男委員 質問項目は2点なんです、主に担当課長の方から細かいことをお聞きさせていただきたいと思います。

収納業務の収納率の関係につきましては、私の記憶するところでは平成16年の決算総括からさせていただいていると思います。

それで、平成17年の2月に収納率向上対策本部というのを立ち上げていただきまして、今日に至っているわけですが、まず、市長にお伺い

を申し上げたいと思いますが、収納率の向上対策について庁内でどのように指示をなさっておられるのか、それから、その場合、例えば数値的な目標値などを示しておられるのか、また、実際行う組織体制について、あるいは途中途中で検討会のようなものを行っておられるのか、フォローについてはどうかということも含めてですが、どういう状況にあるのか、ご答弁をいただきたいと思います。

それと、収納業務に関する課題は何であろうかというようなことについて、まず、お聞きをさせていただきたいと思います。

○高橋孝夫委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

蒲生光男委員からは、収納率の向上のための市役所内の体制とか、あるいは目標とはどういった設定の仕方をして実施しているのかという点と、それから収納率向上のための課題、この2点を私の方からお答えすればいいのかなというふうに思いますが、平成17年に前市長の際に、収納率向上対策本部ということで管理職を中心に、副市長、当時助役が委員長で、そういう体制をとってきたというふうに思います。それは、私にかわってからも同じように収納率向上対策本部というものを副市長を本部長として実施しているところでございますが、大きく変わったのは管理職が今まで、直接滞納されている方に出向いていろいろ納税いただくようお願いしてきたと、要は直接業務ですね、そういったことをメインとしてやってきたんですが、なかなか平成17年、18年はよかったかもしれませんが、19年あたりは余り効率が上がらないということで、収納係、税務課の方ともいろいろ検討して、直接出向くことよりも、むしろ納税の口座振替等々の手続を特にお願いしながら、やはり専門的に収納係を中心としてチームを組んで率を上げていこうということでやってきました。これは、今も対策本部は定期的に副市